

令和8年度 第4回市長タウンミーティング概要

と き：令和8年4月14日（火）
午後7時～8時30分
ところ：文化ホールくるる
参加者：101人

○市長あいさつ

（市長より、令和8年度の施策・予算についての説明が行われました。）

○意見交換

質問（市民）

水道の耐震化について、耐震化は、震度いくつくらいに対応したものなのかを教えてください。

次に、市民会館大ホールのスタインウェイのピアノの導入については、ピアノの先生に聞くと、ヤマハのピアノでは出ない音が出ると聞きますが、嗜好品の部類で、購入費やランニングコストも大変ではないかと思えます。また、市民会館大ホールに設置するのは施設の面からはいかがでしょうか。

3点目に市立病院の移転建替えについて、移転後の跡地の利用方法は決まっていますか。また、新病院について、塚越などからの交通手段はどうでしょうか。

最後に、水道料金の改定について、県の水が21%料金の引上げとなるなか、蕨市は9.59%の引上げで大丈夫なのでしょう。

回答（市長）

水道の耐震化については、国の基準では、基幹管路は、レベルⅡとって震度6強から7程度に耐える強度が、重要施設配水管はレベルⅠで震度5強から6弱に耐える強度が求められますが、蕨市では重要施設配水管についても、レベルⅡの高い耐震性で整備を進めています。

次に、市民会館大ホールについては、開館から51年が経過し、客席や舞台床、照明などを改修するリニューアルを行います。ピアノも開館以来使用し、調律などもそろそろ厳しいということでこのたび更新することとしました。開館当時において、当時手に入る一番良いものを整備しようとヤマハ製のピアノを導入したそうですが、今回の更新にあたっては、現在の公共ホールのピアノの主流となっており、音楽のまち蕨にふさわしいものということで、議会でもご議論

をいただいて、スタインウェイのピアノを導入することとなりました。年間の維持費は35万円程度かかりますが、その価値があると判断したものです。市民会館には、ピアノ用の保管庫はありませんが、保管庫がない他市のホールでもしっかり管理をすれば問題がないことや、あるプロの音楽家からは、「このホールはすごく音がいいので大切に使ってください」とお話をいただくこともあり、スタインウェイを設置するのにふさわしい施設と考えています。

また、市立病院の跡地の利用については未定ですが、広い土地がない蕨市では、例えば、将来的に大きな公共施設が建替えの時期を迎えた際には、貴重な用地となるものと考えています。新病院への塚越などからの交通手段については、コミュニティバス「ぷらっとわらび」の活用のほか、無料での送迎サービスを検討するなど、新病院へのアクセス拡充を図っていきたいと考えています。

最後に水道料金の改定については、事業の経営者の立場からは高い改定率の方が安心ということではありますが、市民の皆さんが物価高騰で厳しいなかですので、必要な設備投資を行いつつ黒字経営でやっていける最小限度の改定率とさせていただきます。市民の皆さんには、どうか今回の改定についてご理解をいただきたいと思えます。

質問(市民)

建設費の高騰が続いていて、知り合いのハウスメーカーの人から2年間で2倍になったという話も聞きました。市立病院は、最初の設定から建設費が24億円増加していますが、これから建設費の値上がりは止まるということはないのではないかと思います。今後、建設費が100億だとか高くなりすぎてしまうと蕨市で建設ができるのか、見直しをする必要が出てくるのは、いくらくらいがラインと考えていますか。

街なか防犯カメラについて、市で管理していると思いますが、休日に犯罪が起きて、警察が映像を見たいとなったときに、提供するのは月曜日になってしまうと聞きました。大宮の方では、休日でも対応しているそうですが、蕨市の方では今後どのように考えているのでしょうか。

回答(市長)

市立病院の建設については、基本設計においてローコスト建築を進め、建設費が87億円となっていますが、コンストラクトマネージャーを入れ、建設費を抑制する努力をしています。様々な要因があるため、今の時点でいくらがラインということはいえませんが、蕨市の将来にわたる財政の健全性維持が大前提と考えており、新病院の建設は、実施設計の建設費や経営改革の進捗状況などを含め、

これならやっていると展望をもったうえで、市民の皆さんにご理解をいただきながら、進めていきたいと考えています。

次に、防犯カメラについては、土日を含めて、警察から求めがあった場合に、蕨市が許可を出して情報提供をさせていただいていますので、ご安心いただければと思います。担当課の方からも詳細をお答えさせていただきます。

(安全安心推進課より) 蕨市では、平日は安全安心課に、土日は市役所の宿直に、警察からご連絡をいただき、該当する防犯カメラの映像記録のデータを収納する保管箇所の鍵をお渡しして、情報提供させていただく仕組みとなっています。

質問(市民)

本日の資料がわかりやすく大変参考になりました。財政健全化について、お伺いしたいのですが、現在の市の基金の内訳を教えてください。また、3月議会を傍聴させてもらい、蕨市の課題のなかで病院の経営、建設が一番の課題と感じました。累積赤字が22億円になっていて、今後の建設費が増える見込みとなると厳しいと思われませんが、病院建替えのための基金はあるのかを教えてください。

また、スタインウェイのピアノについて、ぜひとくだという指摘があるかもしれませんが、その必要性について見解を教えてください。

回答(市長)

蕨市の基金残高については、令和7年度の見込みで約109億円であり、そのうち市立病院建設基金に約30億円、財政調整基金に約34億円、公共施設改修基金に約28億円の3つが主なものとなっています。病院については、まずは経営改革をしっかりと進めながら、建設費を含めた社会情勢などを見極め、将来も蕨市がしっかりとやっていると展望を持ったうえで進めていきたいと思えます。一点、22億円というのは、これまでの企業会計の帳簿上の収支の累積であり、22億円の借金があるということではありませんので、ご理解をいただければと思います。

次に、スタインウェイのピアノについては、先ほどお答えしたとおり、蕨市の文化芸術拠点の公共ホールとして、また音楽のまちづくりを進める蕨市として、必要との判断であります。議会でもその購入について、ご議論をいただけたことはとても良いことであったと思えますし、そのうえで予算をご議決いただいたものです。

質問(市民)

中央1丁目に住んでいる者です。リチウムイオン電池などの収集方法について、昨年12月、今年4月に変更をされたと思いますが、ごみ収集業者が適当な回収をしていたり、段ボールは雨の日に出さないようになっているのに、収集業者が出してもいいですよと言っているのに、市から指導していただきたいとします。また、リチウムイオン電池等の収集かごのシールの貼り替えがまだ進んでいませんので、業者ではなく町会に配っていただいて、貼り替えすることも検討をいただければと思います。

回答(市長)

リチウムイオン電池などの回収について、適切にされていないということですが、こういうご指摘があったということをご委託事業者にしつかりとお伝えし、改めて徹底をしていきたいとします。また、収集かごのシールの貼り替えについては、なるべく早く終わらせるように進めてまいります。

質問(市民)

蕨駅西口のロータリーのひび割れがひどいです。市の玄関口なので、整備いただきたいとします。それ以外にも、この近くの道路で転んでけがをした人もいるので、今以上に道路も整備いただきたいとします。

市立病院は、私が昭和61年に蕨に来た当時にかかったことがあります。胸になった際に医師から喫煙の危険も注意いただけなくて、その後再発したり、具合が悪くて夜間にいったら、医者がいないので対応できないと帰されたこともありました。

水道料金の改定の話がありましたが、今は、マンションに住んでいる人など、水道水は、ほとんど飲まない方も多くなっていると聞きますが、そのあたりも含めて考慮をお願いします。

回答(市長)

蕨駅西口再開発事業では、駅前ロータリーが拡幅整備されますので、リニューアルされ、きれいになる予定です。また、雨に濡れないように屋根も整備しますので、もう少しお待ちいただければと思います。

市立病院の対応について、昭和61年当時のことということですが、申し訳なく思います。市立病院の医療サービスの中身をこれからも充実させるよう取り組んでいきたいとします。

実は、蕨の水は、地下水を3割程度ブレンドしているので、美味しいです。節

水は大事ですが、水道水をもっと利用していただけるよう、美味しさもPRしていきたいと思います。

質問(市民)

蕨市の子育て支援の取り組みが充実していて、ありがたいと思っておりますが、良い取り組みが十分に市民に届いていなかったり、利用者からすると、必要な情報にたどりつくまでの動線がわかりにくいことがあります。例えば、市のホームページについて、子育てポータルサイトの「子育て支援施設・こどもの遊び場」から、公民館の子育て広場のページにたどり着くまで、何階層も入っていく必要があります。今の若い世代は、広報紙を見ることにあまり慣れていないので、ぜひ情報発信の工夫をお願いしたいと思います。

回答(市長)

子育ての情報の発信について、ぜひこれからも努力していきたいと思っております。市のまちづくりの計画で若い方に意見を聞いたときに、「蕨ではそんな良いことをやっているんですか。知らなかったです」とのお話を聞くことがあり、情報発信の充実が大事だと感じていました。今のホームページのつくりの改善は、進めたいと思っておりますし、今後も、市公式LINEや母子健康手帳アプリなどでも子育て情報をお知らせしていければと思っております。

(秘書広報課より 市ホームページの子育てポータルサイトへのご意見につきましては、「子育て支援施設・こどもの遊び場」から各公民館のイベントや講座のページに直接つながるように改善をいたしました。)

質問(市民)

交通安全対策について、自転車交通反則通告制度の話がありましたが、自転車は左側通行で、歩道は通行しないことなどのルールがありますが、銀座商店街の通りや線路沿いの沖電気の前など、重要な混みあっているところには、青色の自転車通行帯の塗装や進行方向の矢印もあると良いと思っております。また、高齢者のためにも自転車の交通ルールをイラストにしたものを配布してほしいです。

回答(市長)

自転車の交通反則通告制度、いわゆる青切符が4月から始まりましたが、スマホや傘さし運転などのながら運転などは反則金の対象となります。これは全国

的に自転車の交通事故が問題となっているため、蕨市では、交通反則通告制度について、広報紙4月号やケーブルテレビなど、イラストを入れ、いろんな形で啓発をしています。青色の自転車通行帯の整備については、道路が一定の幅員がないと整備ができないため、蕨市で対応できる場所は少ないのですが、いろいろ工夫をして、より安全性を高める努力をしたいと思います。交通事故が起きにくい道路環境をつくっていくことが大事ですが、毎年、交通事故多発事故整備事業で、危ない箇所について、取り組みを進めています。もし、ここが心配ですとかありましたら、お知らせいただければ、市で現場を確認し、警察とも連携しながら対応して安全対策を進めていきたいと思っています。

(まちづくり課・安全安心課より 銀座商店街の通りについては、中央第一地区まちづくり事業において、令和9年度に予定するリニューアル・拡幅整備を行う際に、自転車の通行を想定した車道と歩道間の緩衝帯を整備する考えです。線路沿いの沖電気の前の通りは、歩道のラインの再塗装を行ってまいります。)

※ご質問いただきました内容に関して、担当課の確認など、その場でお答えできなかった内容を、加筆・修正して公開しています。